本宮市行政評価システム													
平成 2 0 年度事務事業評価表 平成 2 0 年度事務事業評価表								作成日:平成20年7月11日					
								管理		6-1-6-11			
<mark>事務事業名</mark> 自動車臨時運行許可事務事業											部等名	Ż	生活福祉部
予算	会 計	科目コード		予算	細目名					課等名	Ż	市民課	
科目	一般				細ぐ	7目名					係 等 名	Ż	市民窓口係
政策 体系	基本目標	6	その他										
	施策	1	その他										
	基本事業名	3 6 窓口サービスの充実											
道路運送車両法の規定に基事業概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・				D規定に基7	づき市町 	「村が行う	臨時運行の記	许可					
根拠法令等			地方自治法、道路運送車両法 本宮市自動車の臨時運行許可業務取扱規則			双扱規則	事業の科 評価区		□維持管理事業 ☑ 義務的 □事前評価 ☑ 事後評価			事業	□その他事業
重点	事業区分		直点事業	事業実施	期間	✓ ≴	 迷続 □	単年	度 □期	間限定	(年)	变 ~	年度)
決算額	1 報酬					消耗品費			49,350 円	15 工事			円
	7 賃金				円 12 役務費 円 18 備品期						円		
	8 報償費 9 旅費					委託料 使用料及7	バ手数料		<u>円</u> 円		金補助及び交付 合 計	寸金	49,350 円
(1)≣	事務事業の現 事務事業の目 「誰な」何を	的と			13 14		○ J ×∧11		[3		н п		.0,000

普通、小型、検査対象軽、大型特殊の各自動車

手段(事業の具体的な内容、手順等)

運行要件を備えるためには、検査や登録を受けなけれ ばならないが、運行要件を具備しない自動車の運行を 認めようとするのが臨時運行許可制度である。

意図(対象を、どのような状態にしたいのか)

許可書を見やすいように表示して運行するときは車両 法上運行要件を具備しなくてもよいので、適正な審査 をする。

活動指標名・式(アウトプット) 活動の大きさを表す指標

指標 名称 窓口を開けていた日数

式日 (1)

指標名称 (2) 式

成果指標名・式(アウトカム) 意図の達成度を表す指標

指標 名称 許可件数

(1) 式 件

名称 指標 (2)

事務事業を実施(意図を実現)することで、施策にどのように貢献していますか

道路運送車両法の規定に基づき、適正な審査をすることにより窓口サービスの増進を図る。

(2)指標・総事業費の推移

_		H 180	ラー・スス・ション							
			区分	単位	年度 (実績)	年度 (実績)	18年度 (実績)	19年度 (実績)	20年度 (見込み)	年度 (最終目標)
		活動指標(1)						245	243	
指		活動指標(2)								
標		成果指標(1)						847	850	
		成果指標(2)								
		財	国・県支出金	千円						
	事	源	地方債	千円						
投	業	内	その他	千円				49	49	
	費	訳	一般財源	千円						
入			事業費計(A)	千円				49	49	
	人		職員数	人				0.1	0.1	
量	件	人	件費平均額(年)	千円				8,373	8,373	
	費		人件費計 (B)	千円				837	837	
		総	事業費 (A + B)	千円		0	0	886	886	

(3)事務事業の環境変化・市民の意見等

事業の開始時期から、または5年前と比べ事業を取り巻く環境(対象者・法令等・社会情勢)はどう変わりましたか?

平成19年1月以前は、税務課が主管課であったが、合併後は、市民課で全て事務処理を行っている。

この事業に対して、関係者(市民・議会・事業対象者・利害関係人等)からどんな意見や要望が寄せられていますか?

許可書は、県内の場合原則1日であるが、複数の日日を借りたいと要望がある。

本宮市行政評価システム 2.事務事業の評価 (Check)

	The second secon							
		[目的妥当性評価]						
	施策体系との整合性	市が行なう必要性	対象・意図の妥当性					
	☑有 【理由 】	☑有 【理由 】	□有 【理由 】					
	□無 【理由 , 改革改善案へ】	□無 【理由 , 改革改善案へ】	☑無 【理由 , 改革改善案へ】					

		道路運送車両法の規定に基づき市町村	対象・意図は妥当である					
	に結びつく	が行う	対象・思因は女当でのも					
		- de à l'il des les -						
		[有効性評価]						
評	成果の向上余地	事業の中止・廃止による影響	類似事業との統廃合の可能性					
AT.								
	□有 【理由 , 改革改善案へ】	— 13	□有 【理由 , 改革改善案へ】					
価	☑無 【理由 】	□無 【理由 , 改革改善案へ】	☑無 【理由 】					
	- Miles		All and a second					
結								
和中								
	法律に基づくもの	法律に基づくもの	類似事業はない					
果	な件に至りくもの	以中に至ってもの						
	[効率	生評価]	[公平性評価]					
	事業費の削減余地	人件費の削減余地	受益者負担の適正化余地					
	□有 【理由 , 改革改善案へ】	□有 【理由 , 改革改善案へ】	□有 【理由 , 改革改善案へ】					
	☑無 【理由 】	☑無 【理由 】	☑無 【理由 】					
			□無 【注□ 】					
	印刷としての消耗品くらいのため削減	1 /4 # 5 *** 4 1 4 1	地方公共団体手数料令により定まって					
	の余地はない	人件費の削減余地なし	いる					
	07 // 26 18 /8 V 1		V 1 S					
3.1	評価結果の総括と今後の方向性							
(1)	1 次評価者としての評価結果	(2)全体総括(振	り返り、反省点)					
('/			(ラピッ、灰目ボ)					
	目的妥当性 🗸 適切 🔲 見	直し余地がある						
	有効性 🔽 適切 🔲 見	直し余地がある 繰返し仮ナンバー	ープレートを貸すことにより最小の					
		直し余地がある 経費で、殆ど歳.	入になる貴重な財源である。					
	公平性 ☑ 適切 □見	直し余地がある						
(0)		2011 20 00	/6) 化苯基尼亚姆维诺图					
(3)	今後の事業の方向性	<u> </u>	(5)改革・改善による期待成果					
	□廃止 □休止 [□事業の統廃合 □目的再設定	廃止・休止の場合は記入不要					
		■ 事業のやり方改善(効率性改善)	コスト					
	□事業のやり方改善(公平性改善)	✔ 現状維持(従来の通りで特に改革改善しな	(ハ) 削減 維持 増加					
(4)	改革改善案の概要		向上					
(7)	スキ以音木ツim女							
/二、二	1 代山ナマナ は ひじ奴隶のかからも	いいままれけ近さまでのまな羊の人間	はな					
繰返	し貸出するため、殆ど経費のかからな	よい頁里な別源であるので改善の余功	別はな * 低下					
い。			11.0 1					
(6)改革改善を実現する上での解決すべき課題と解決策								
(0)以半以首で天坑する上しの肝穴すいで詠起し肝穴束								
4 . 1	事務事業の2次評価結果 🔲 2 2	欠評価対象 ☑ 2次評価対象外						
_			ith Lind					
(1)	2 次評価者としての評価結果	(2)評価結果の根	で、一般に注出					
1	目的妥当性 🔲 適切 🔲 見	直し余地がある						
		直し余地がある						
I	効率性	直し余地がある						
		直し余地がある						
(3)	今後の事業の方向性(改革改善案)		(4)改革・改善による期待成果					
	□廃止 □休止 □目的再	記定 □事業の統廃合	廃止・休止の場合は記入不要					
1								
	□事業のやり方改善(有効性改善)	■事業のやり方改善(効率性改善)	コスト					
	□事業のやり方改善(公平性改善)	□現状維持(従来の通りで特に改革改善した	い 削減 維持 増加					
1	□ 尹未のドリル以古(公十は以告)	┗┛ススインイネネスライ゙ルヒスインクン辿り、イ付に以半以告い。						
			向上					
			风 44++					
(5)その他、2次評価会議で指摘された事項								